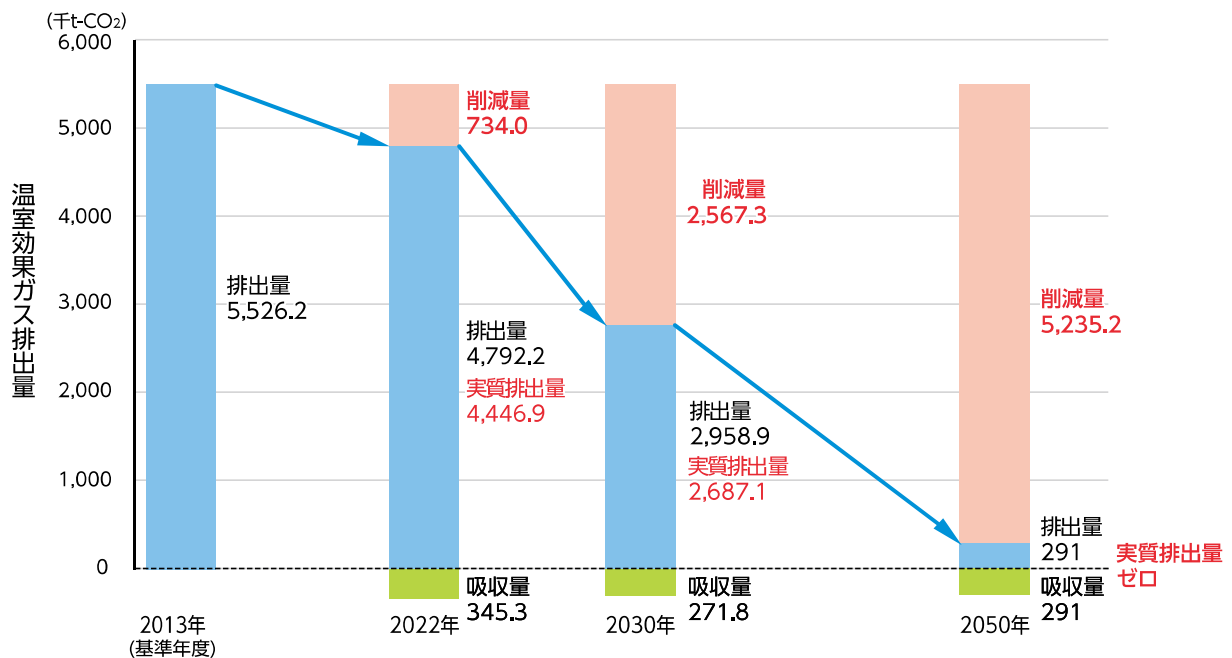


## 1 2050年カーボンニュートラル実現に向けたチャレンジ

2015年の「パリ協定」合意や、2018年のIPCC「1.5℃特別報告書」において2050年前後のCO<sub>2</sub>排出量の正味ゼロの必要性が示されたことなどを踏まえ、本市は、国に先駆け、2020年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

その後、国においても、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言しています。

国や県、周辺自治体などとも連携・協力を行い、2050年度にカーボンニュートラル・脱炭素社会を実現するため、たゆまぬ取組を進めていきます。



図表 3.1 温室効果ガス排出実質ゼロの実現

## 2 浜松市域“RE100”

2011年3月に発生した東日本大震災は、国のエネルギー政策の転換を迫るものとなりました。本市においても、2013年3月に「浜松市エネルギービジョン」を策定し、“エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会”の実現を目指すこととしました。

その後、2020年3月に、2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロに向けた「浜松市域“RE100”」を宣言しました。

「浜松市域“RE100”」とは、市内の総消費電力に相当する電気を、市内の再生可能エネルギー施設で生み出すことができる状態のことを言います。RE100の考え方を参考に、本市が独自に定義したものになります。

**浜松市内の再エネ発電量 ≥ 浜松市内の総電力消費量**

【参考】RE100とは ※RE(Renewable Energy)再生可能エネルギー  
事業活動に用いる電力の100%を再生可能エネルギーで調達することを目指す企業が加盟している国際的な企業連合。2026年2月現在、世界で444社(日本では95社)が加盟している。

### ★浜松市域“RE100”へのチャレンジ目標

		2013年度 (実績)	2023年度 (実績)	2030年度 (目標)	2050年度 (目標)
再生可能 エネルギー 発電量 (MWh)	太陽光発電	119,573	896,996	1,117,000	2,005,000
	風力発電	51,724	52,033	52,000	387,000
	バイオマス発電	66,472	57,010	169,000	204,000
	小規模水力発電	0	0	16,000	25,000
	計 (A)	237,769	1,006,039	1,354,000	2,621,000
	大・中規模水力発電	2,566,189	2,566,189	2,240,000	2,787,000
	計 (B)	2,803,958	3,572,228	3,594,000	5,408,000
市内総電力 消費量 (MWh)	(C)	5,119,965	4,865,014	4,941,000	5,152,000
再エネ電力 自給率	大・中規模水力除く (A/C)	4.6%	20.7%	27.4%	50.9%
	大・中規模水力含む (B/C)	54.8%	73.4%	72.7%	105.0%